

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和元年7月29日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都市中京区壬生花井町3	氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) NISSHA株式会社 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015 / JIS Q 14001:2015
適 用 範 囲	NISSHA株式会社および国内関係会社において行う生産・開発・販売・管理の活動および製品・サービスに適用する。
導 入 年 月 日	2001年6月20日
認 証 番 号	EMS 593351
基 本 方 針	環境方針(コピー)添付
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	【汚染の予防】環境事故0件(工場が対象)2023年度末までに環境リスクの可能性を下げる。 【気候変動への適応】基準:2017年度実績値 2023年度までにCO2排出率(原単位)を6%以上削減する。 【廃棄物の削減】基準:2017年度実績値 2023年度までに廃棄物発生率(原単位)を6%以上削減する。 【水使用量の削減】生産効率改善および節水により水使用量の削減に取り組む。 【化学物質の削減】認証取得範囲のサイトの化学物質の使用率低減に取り組む。 【設計・開発段階の環境視点】製品設計・開発段階に、省エネ・省資源・耐久性・リサイクルなどの視点を取り込む。
目標を達成するための取組の内容	全社目標を達成させるため、以下の内容に取り組んでいる。 【汚染の予防】対象工場のハザード評価リストの活用 【気候変動への適応】品質目標とリンクした良品率の向上、作業効率・機械の運転効率の改善、昼休み消灯徹底、近隣階への移動の際の階段利用、ネオンサインの消灯、PC、事務OA機器の節電モードと退社時の確認徹底、こまめな消灯、蛍光灯間引き、エレベーターの時間外停止 【廃棄物の削減】品質目標とリンクした良品率の向上(不良品の削減)、廃棄物の有価物化推進、廃棄物の発生抑制 【化学物質の低減】有害化学物質の使用率低減 【設計・開発段階の環境視点】ポジティブ評価リストを活用した環境配慮設計の推進
目標を達成するための取組の進捗状況	CSR委員会環境安全部会を四半期に1回開催し、全部門の目標達成状況・進捗状況を確認。目標未達成が続く部門に対しては、原因の分析や活動の見直しを実施。社内イントラネットに資料を掲載し、従業員に周知している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組みを実施できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎月法改正情報のウォッチングと判定を行い、「環境法規制一覧表」に反映し、関係ある法改正情報を拠点に連絡している。定期的な内部監査の実施、各部門での法順守点検チェック、CSR委員会環境安全部会の報告により順守状況を確認している。行政よりの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	内部監査およびマネジメントレビューを年1回開催し、マネジメントシステムの評価、見直しを実施している。また環境マネジメントシステムの評価に関して、外部審査を受けており、年に1度の維持審査、3年に1度の更新審査によりマネジメントシステムの有効性の評価をしている。さらに必要に応じて、マネジメントシステムの見直しを実施している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。